

ユニバーサルデザインの挑戦 ~ 自立・共生・環境を拓くデザインの可能性 ~

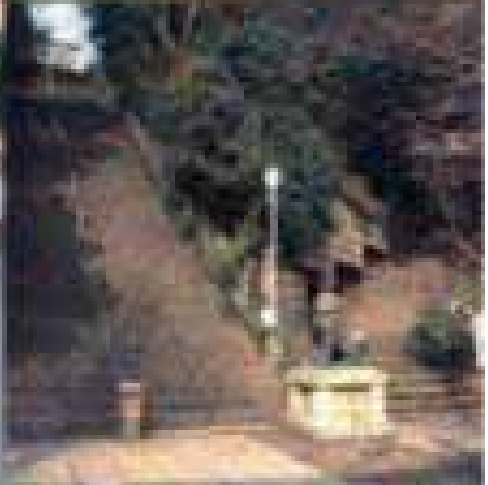
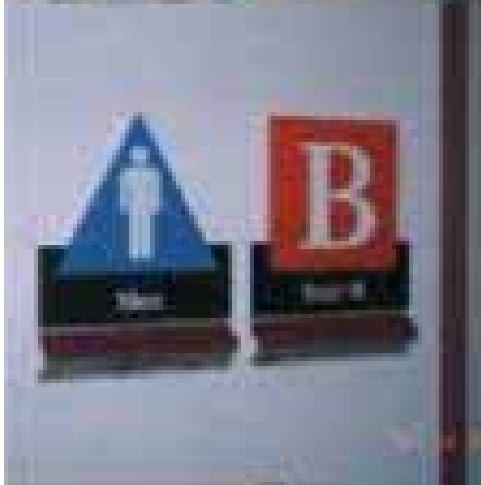
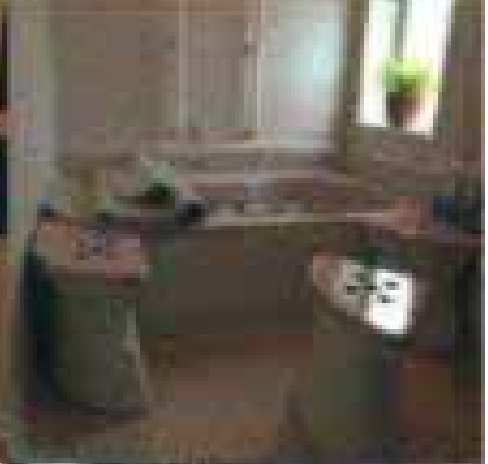
古瀬 敏 (静岡文化芸術大学)

kose@suac.ac.jp

ユニバーサルデザインとは？

- ユニバーサルデザインとは何だろうか？
- 今どこまで来ているか？
- 製品、住まい、建物、まちづくり……

- **すべての人を念頭に**
- **高齢化の衝撃**
- **デザインの基本はユーザー中心**
- **誰を切り捨てていたか？**
- **どうすればいいのか**



20世紀終わりにかけて言われたこと

- 21世紀は国際化、高齢化、情報化、地球環境の世紀
- これらのキーワードのうち、高齢化、国際化と地球環境とが本日の話の中心

自立とは：自立か自律か

- 自立とは自分で(他人の手助けを借りずに)ものごとができること。
- 自律とは、自分で決めて、人の手を借りても、そのようにできるように手配すること。
- 人に頼っていた(頼らざるを得なかった)のはだれだろうか？ - 障害者と高齢者？ 高齢者は長老だった？ それとも姥捨て？

共生：だれとだれとの共生？

- 男女？ さまざまな国の人？ さまざまな能力の人？
- 多様性を認めて、それに応じて起こることに対応する
- 違うからと言って排除しないこと - これが本質

地球環境

- 地球はいくら汚しても大丈夫なのか？ 資源はいくら使っても尽きないのか？
- 江戸時代、国外とのやりとりがほとんど無かったとき、人口は3000万人程度だった。つまり、それがこの国の土地と資源が支えることのできた水準。1億3000万人はその視点から見れば多すぎる。エコロジカル・フットプリントで見ると、日本は使える量の倍を消費？ もちろん米国が最大の浪費国

- **ものをつくって使って、何も心配しなくてすんだ、古き良き時代？ 土と木と紙とでできていた古い木造住宅 - プラスチックなど、地球に簡単に戻っていかない材料だらけの現代住宅**
- **自家用車の抱えている問題：中国でだれもが運転始めたら…… ガソリン高騰、汚染はもっとひどく、**

コンパクトシティ、という考え方

- - 歩いて暮らせるまち、自転車移動できる距離
- 郊外のハイパーマーケットか、それとも近所の小さな店舗、コンビニ、あるいは……（車で買いに来てくれる人のために巨大な駐車場を確保。その費用負担を考えれば、公共交通機関できてくれる人が買い物したものを無料の宅急便で届けることはできるのでは）

ユニバーサルデザイン

- **すべての人のため**
- **= 年齢、性別、能力の如何に関わらず**
- **Abilities vs Disabilities**

- **× 年齢、性別、障害の有無に関わらず**
- **健全者対障害者**

ユニバーサルデザイン概念の誕生

- すべての人を目指してデザイン、は古くから
- 問題が露呈したのはとくに第二次大戦後
- ASA A117.1 (ANSI) 1961
- ……→各国に影響……
- ADA 1990, ADAAG 1991,,,,
- 書かれたこと以上に理念が重要に

UDに向けての動き

- 1990年代初頭からとくに
- UD教育への取り組み
- 1995年には「UD教育戦略」を出版
- 1998年には国際会議、2000年にも
- (2002年は米国ではお休み、代わりに横浜、2004年にはリオ・デ・ジャネイロで開催)
- 2006年には京都で、IAUD主導で

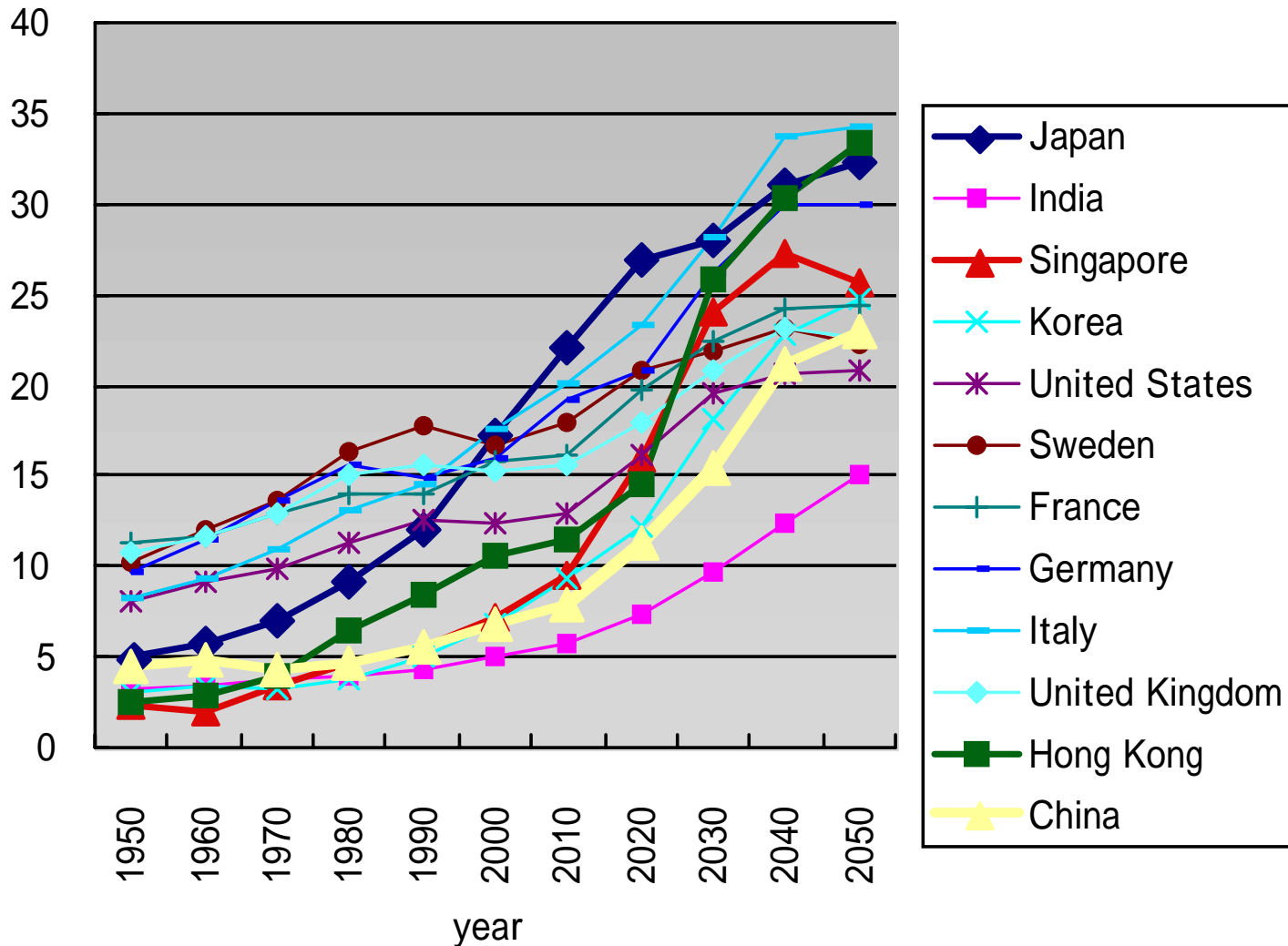
なぜ日本でUDか

- 高齢化、がほとんどすべてを規定
- 前例がない
(過去は前例を追っていれば済んだ……)
- 実態は次の図が如実に示す

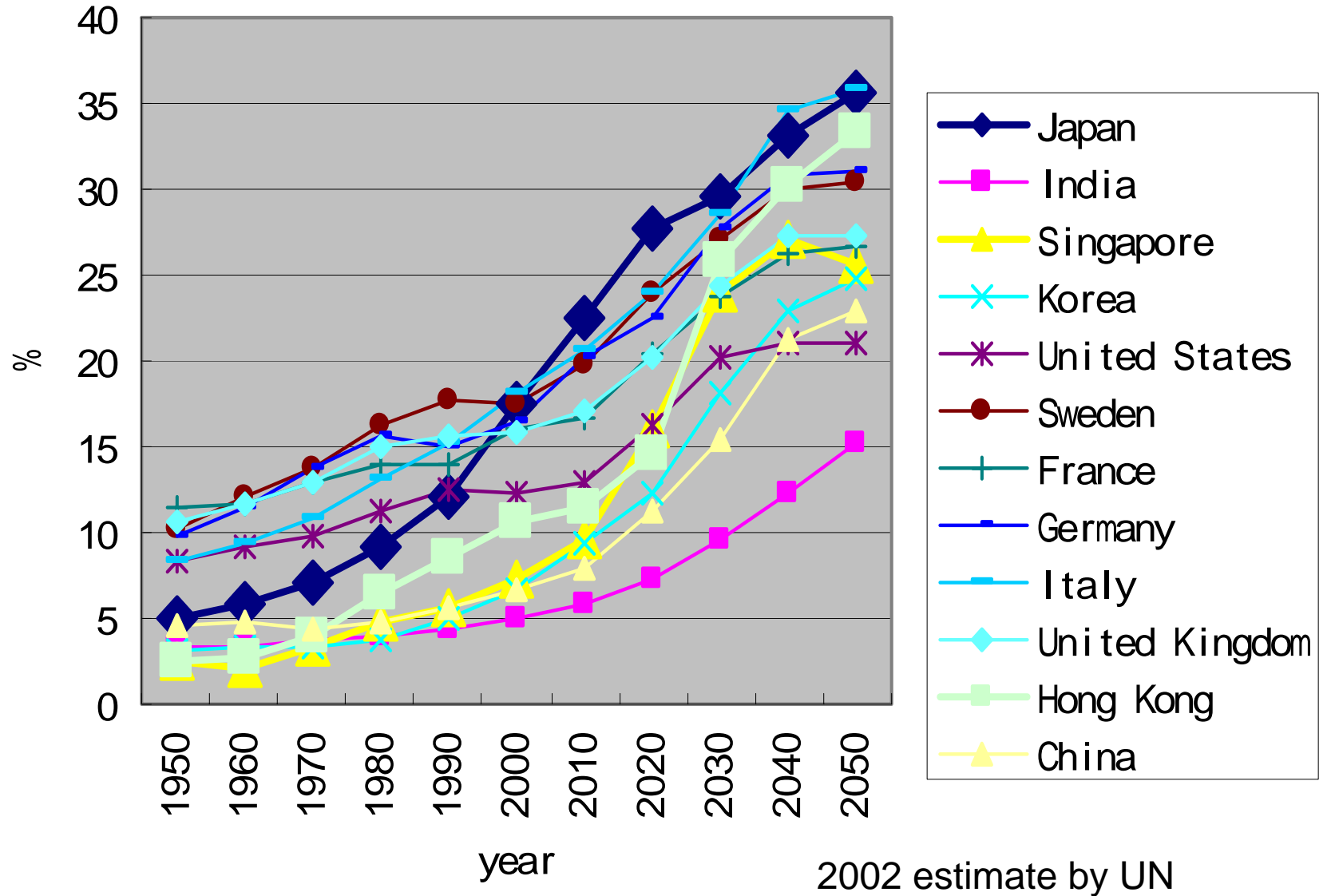
それを前提として、どうやって元に戻せるか

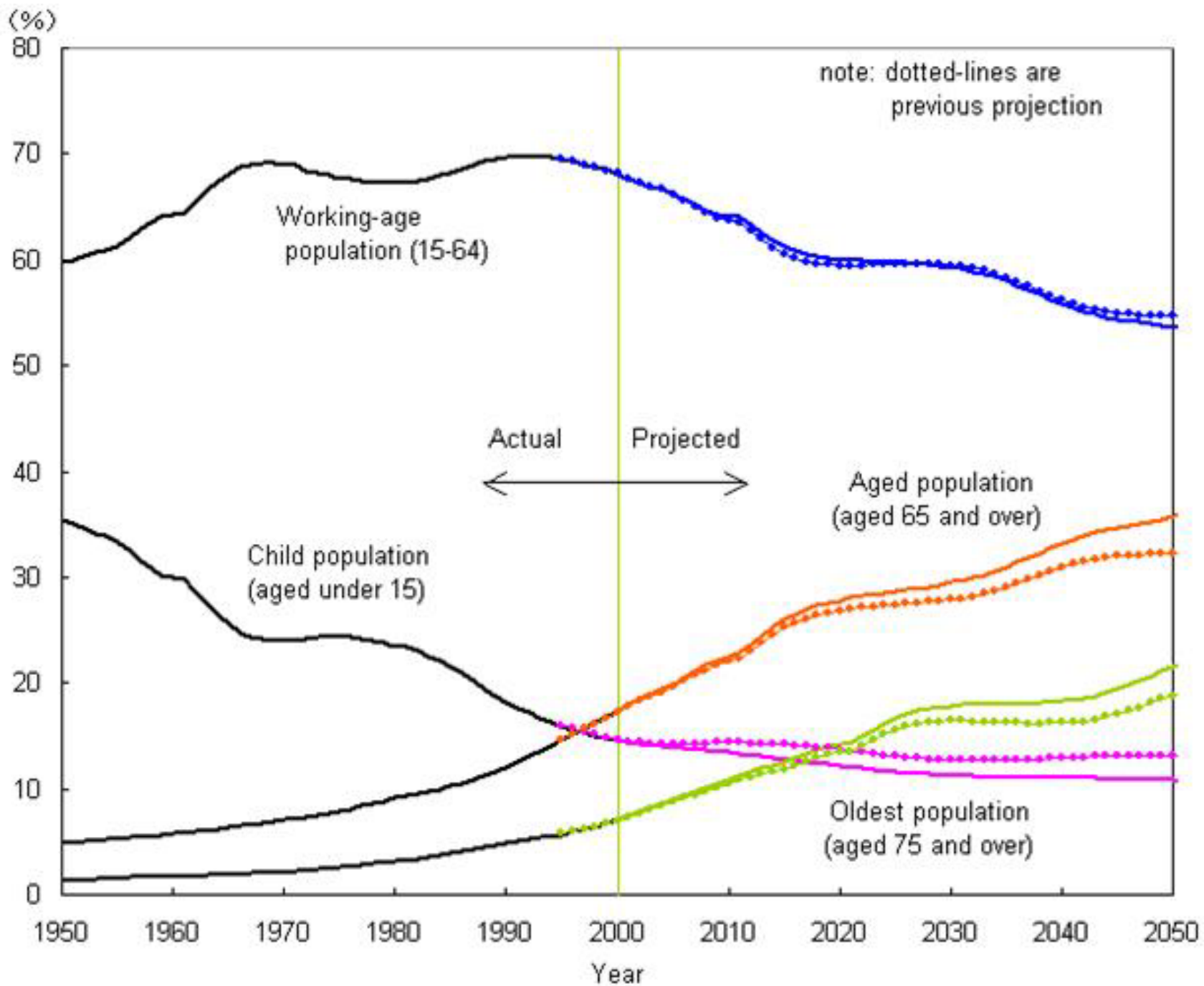
Population 65+ 1950-2050

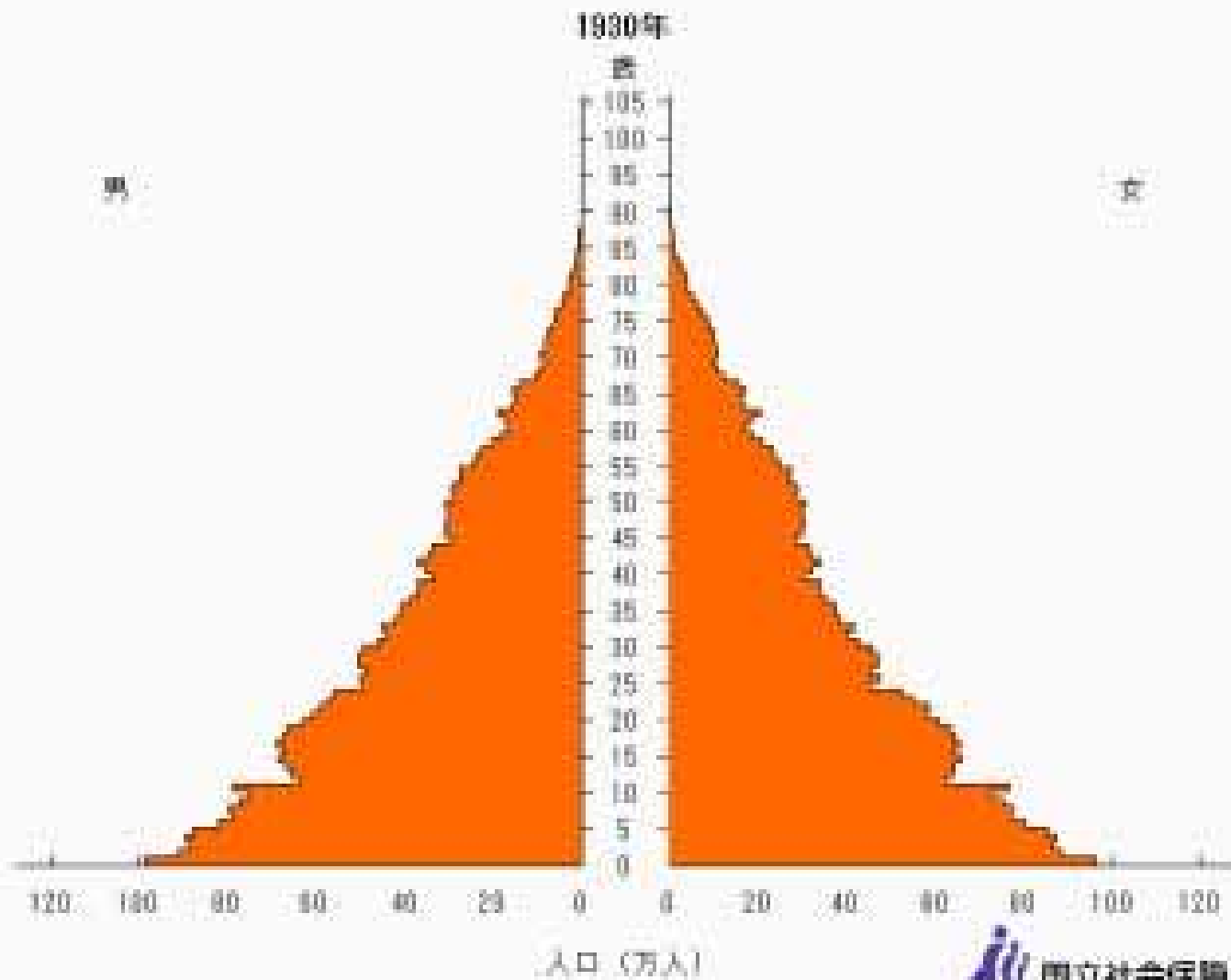
Population 65+: 1950-2050

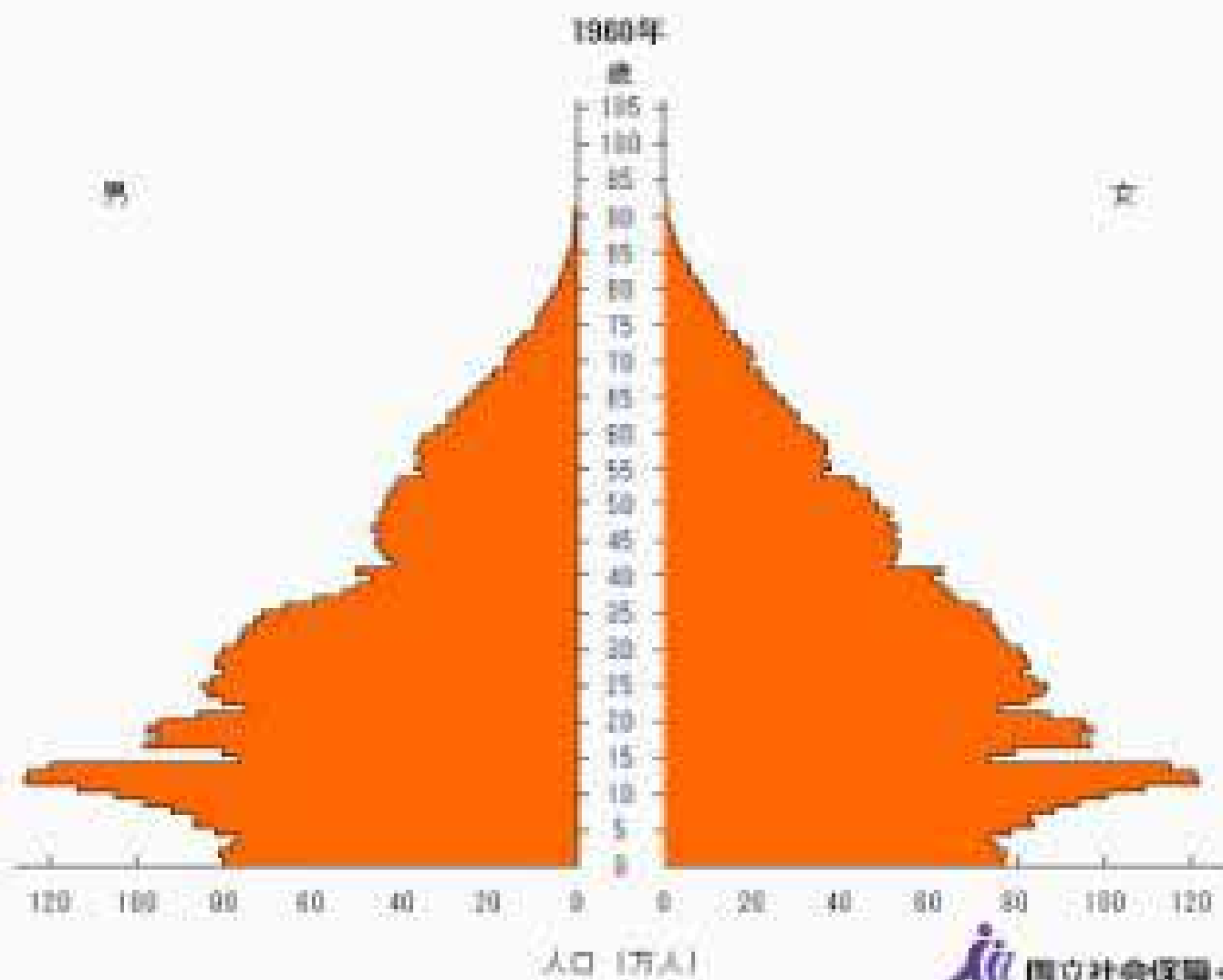


Population 65+: 1950-2050

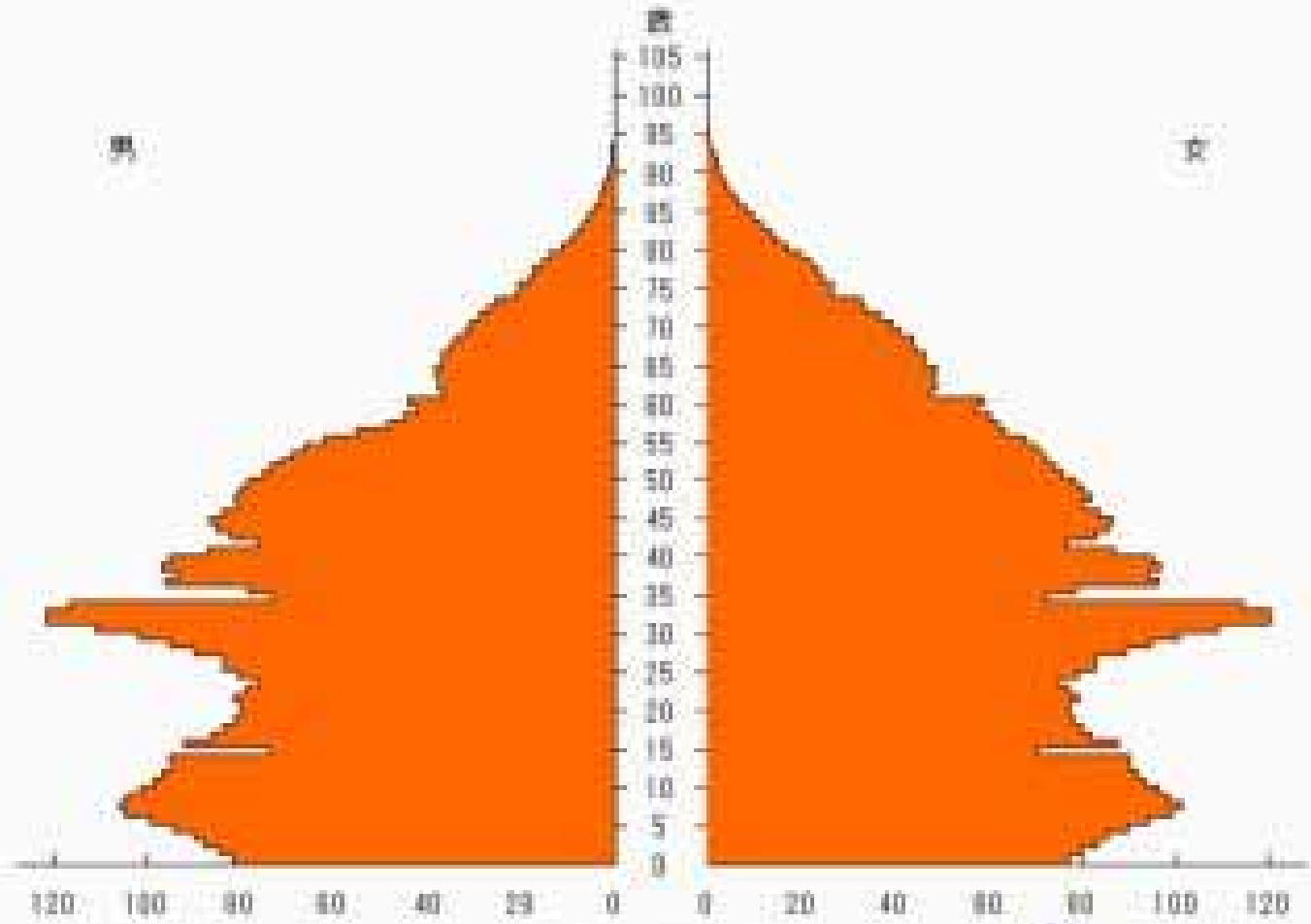








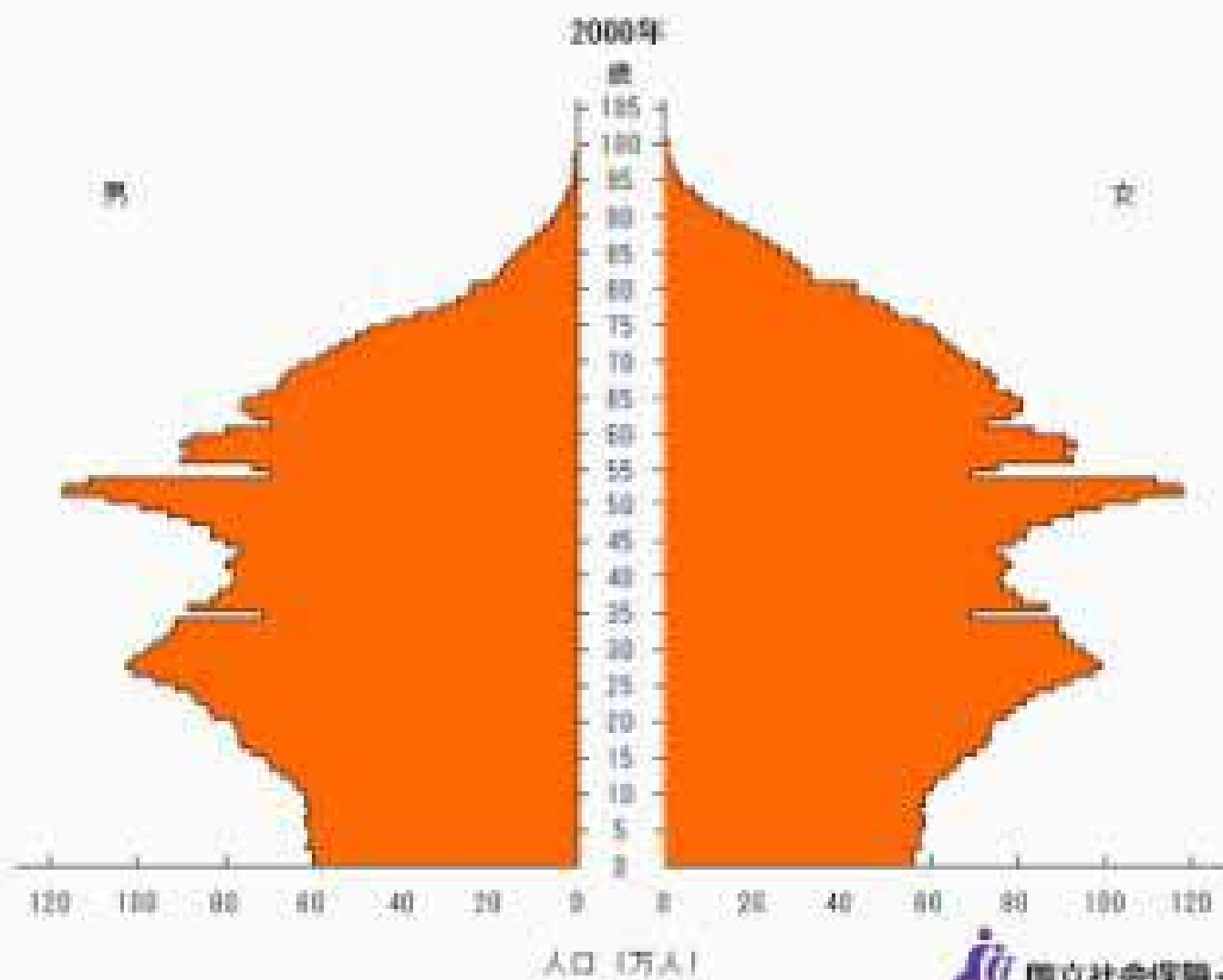
1980年



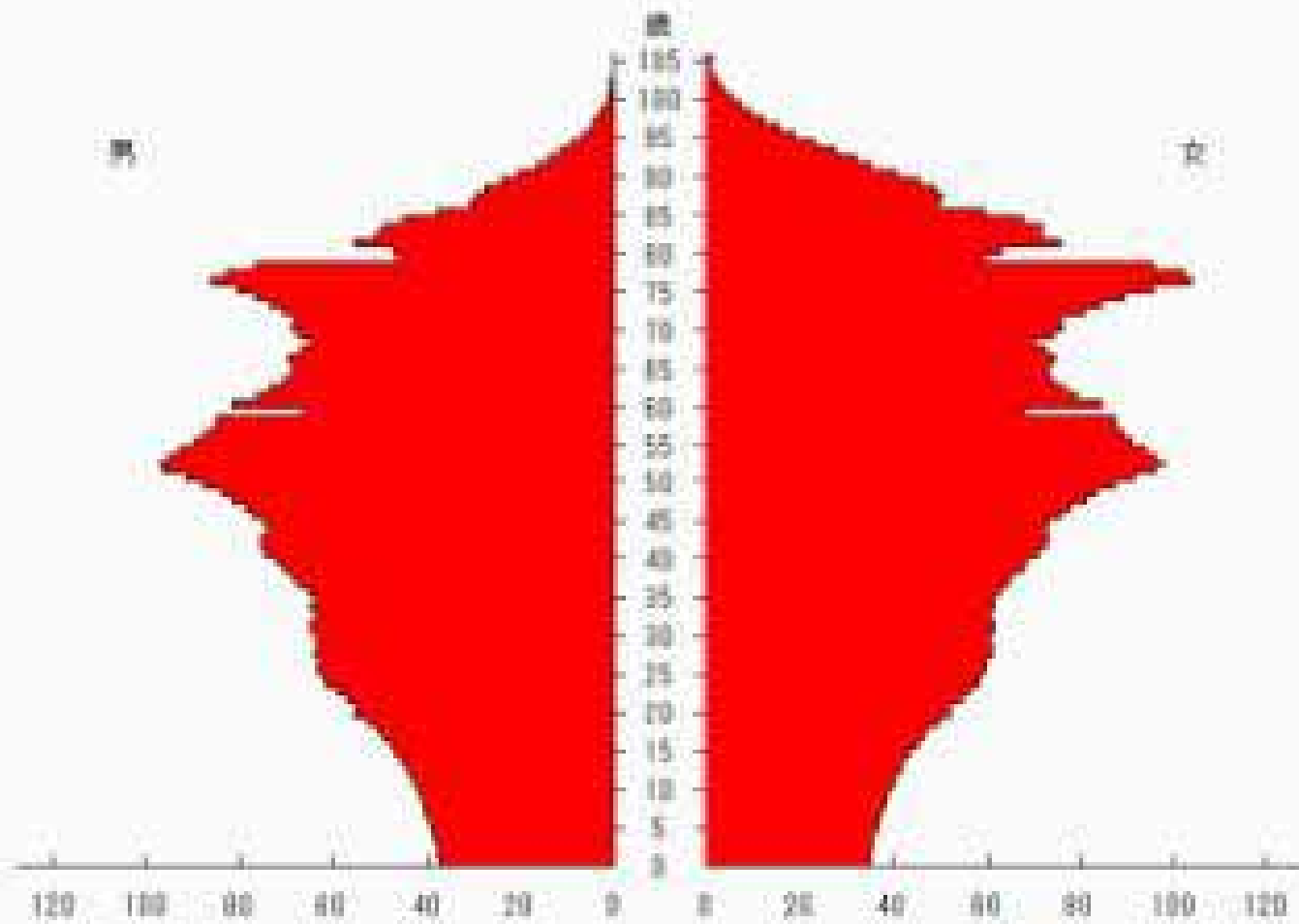
男

女

人口 (万人)

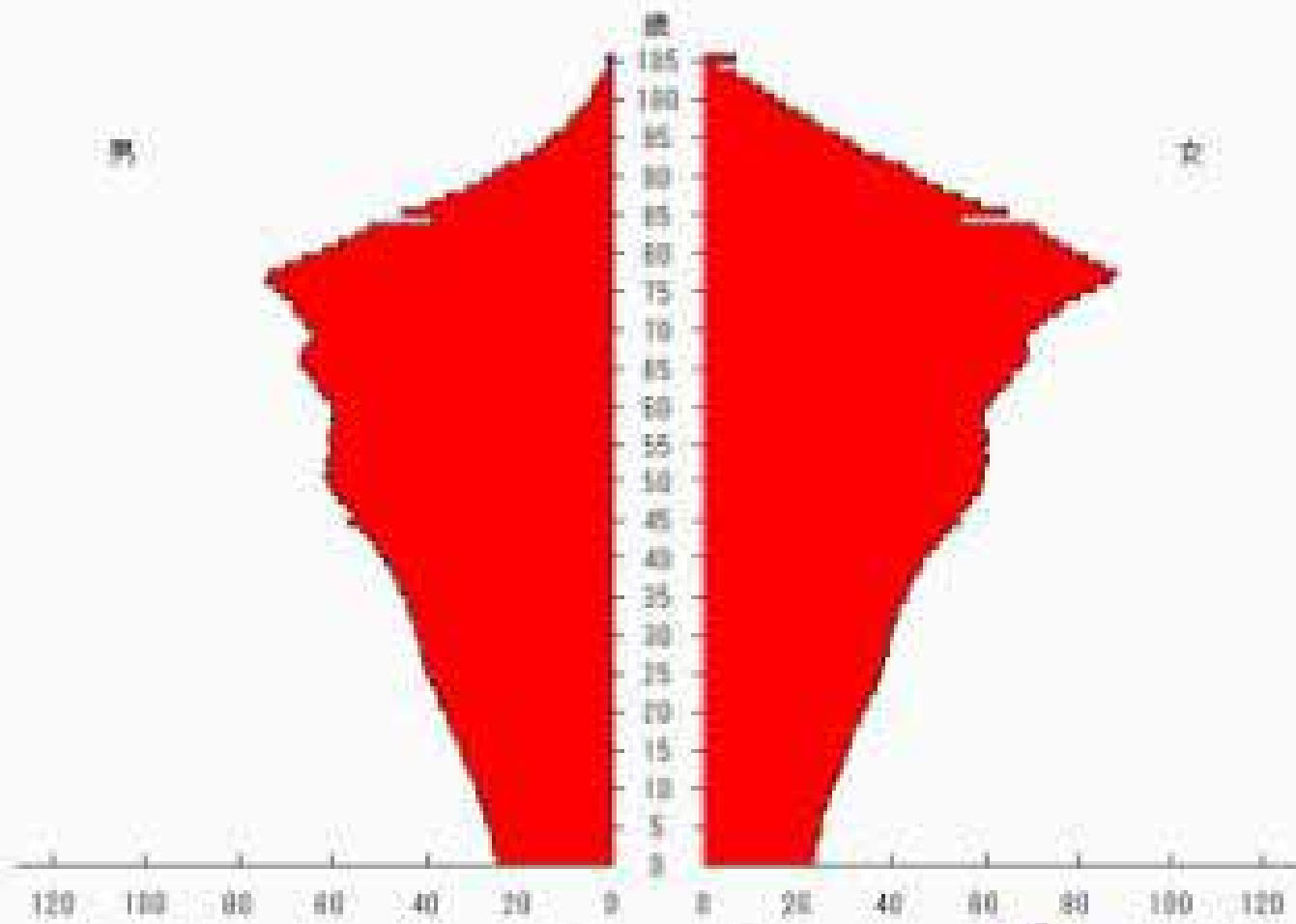


2025年

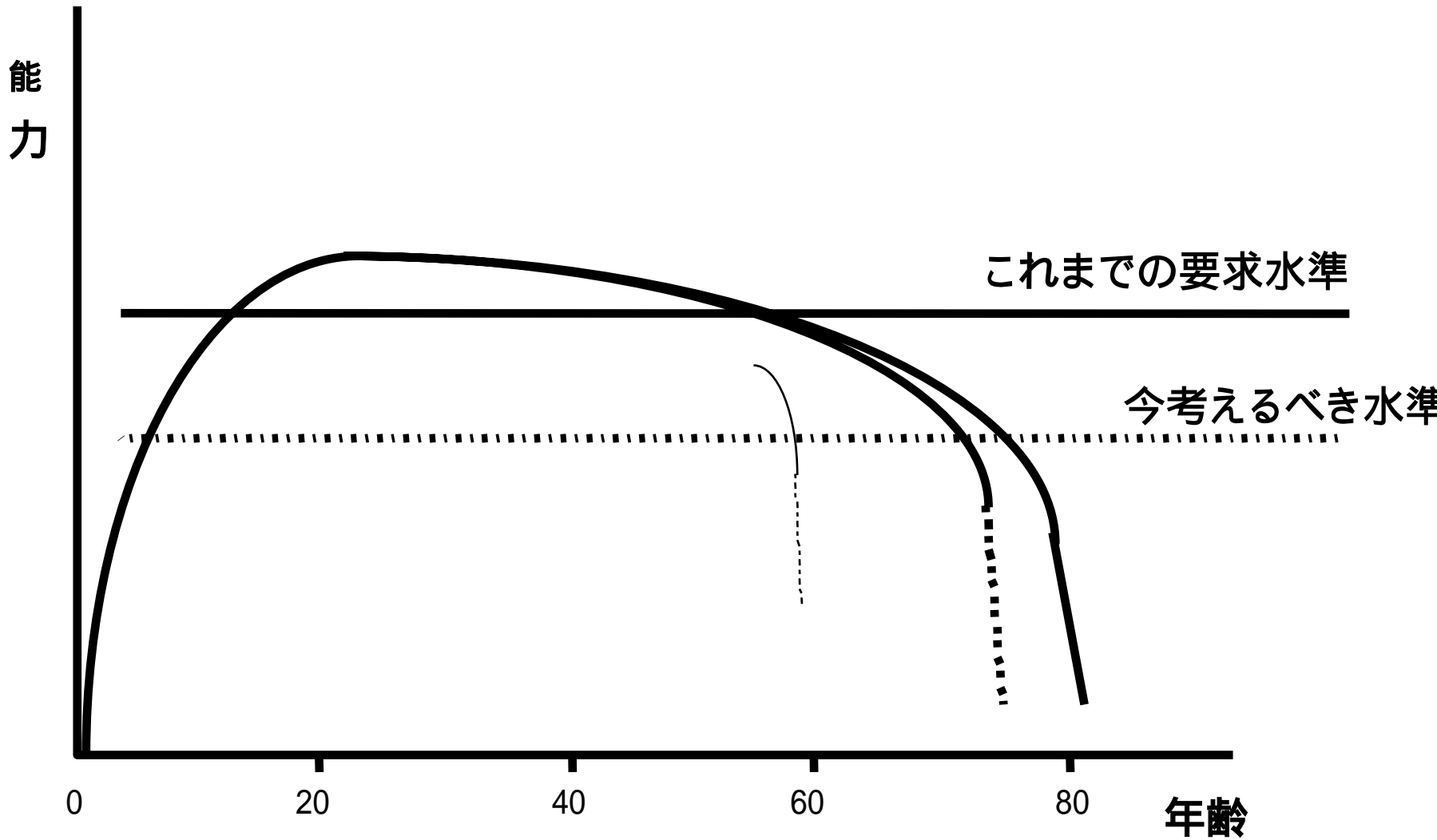


人口 (万人)

2050年



人口 (万人)



年齢と人間の能力の関係の模式図

ユニバーサルデザインの7原則

原則1) 誰にでも公平に利用できること。

原則2) 使う上で自由度が高いこと。

原則3) 使い方が簡単ですぐわかること

原則4) 必要な情報がすぐに理解できること

原則5) うっかりミスや危険につながらないデザインであること

原則6) 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること

原則7) アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

著作権: ノースカロライナ州立大学

<http://homepage2.nifty.com/skose/7UDP.htm>

7原則はわかりやすいか？

- デザイナー向けチェックリストとして有効
- ぶつうの人にメッセージが伝わるか？
- もっと基本的な立場から見ると…
- 「いいデザイン」であることが重要

いいデザインの必須6要件

安全性	(Safety)
アクセシビリティ	(Accessibility)
使い勝手	(Usability)
価格妥当性	(Affordability)
持続可能性	(Sustainability)
審美性	(Aesthetics)

必須要件の意味づけ

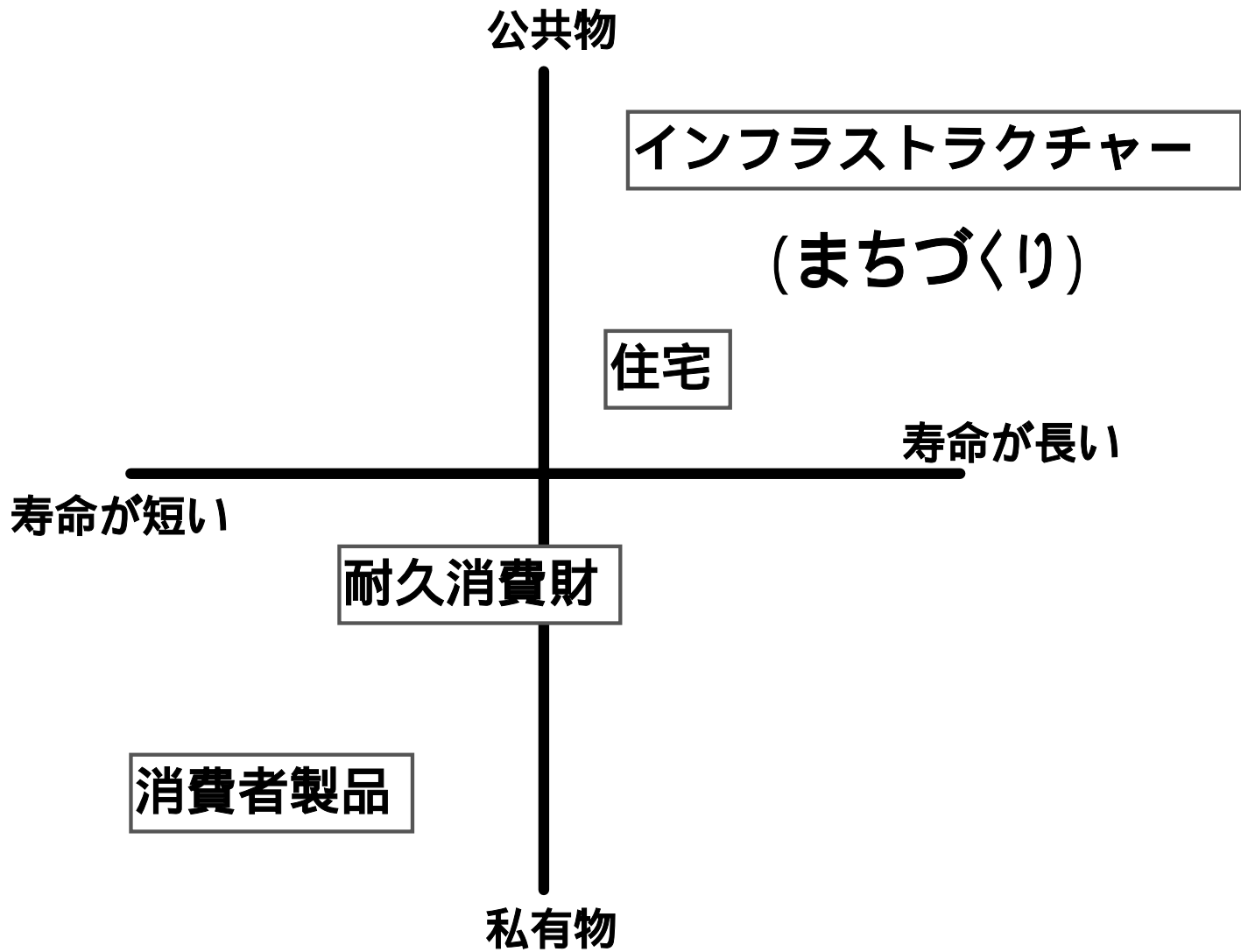
- 安全性： 法的要件の第一
- アクセシビリティ： 新たな法規制
- 使い勝手： 最後は利用者が決める
- 価格妥当性： 市場が答えを出す
- 持続可能性： 新たな法規制？
- 審美性： デザイナーの領分？

バリアフリーとUDとの関係？

- 必須要件のうち、最初の3つがBFに必要
- 4番目がUDには必須(市場性のないものはUDにはなり得ない)
- じつは6番目もUDには必須:ただしアート(芸術作品)としてではない。あくまで多数派に嫌われないこと

どうやって達成するか？

- 消費者製品は個人持ちで短寿命
- 選択肢の存在が重要
- 寿命が長くなり公的支出が関与すると
- 選んでくださいでは済まない
- 多くの人にとって不都合、が推進力
- やはり人口高齢化が決定的要因



公私と物の寿命の関係

2) 今どこまで来ているか？

- 今や流行語？
- 主流であり続けるためには必須
- 縮小均衡に向かう経済？

今どこまで来ているか？(つづき)

- **製品**: UDを前面に出した広告も出てきた
- **住宅**: 高齢者住宅指針; 性能表示(戸建てよりは集合住宅)
- **建築**: ハートビル法; 自治体の条例(義務化を突破口として)
- **まちづくり**: 交通バリアフリー法に基づく基本構想(重点的整備地区から)

新しい動き

- 耐震偽装問題で性能表示が注目される
- 交通バリアフリー法とハートビル法が合体
- 障害者自立支援法
- 介護保険改正

- その次は？？？

いいデザイン、例えば・・・

- 温水洗淨便座
- 段差解消浴室ユニット
- ロンドンタクシー
- 非接触ICカード(JRのスイカ)
- 自動ドア
- エレベーター
- レバーハンドル
- そして製品では、携帯電話、ボールペン・・・

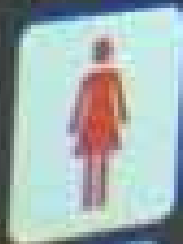


2004ダイアリー 手帳販売中

年中無休
2/21(水) 10:00~18:00

美術的なものから
実用的なものまで
各種カレンダー販売中

トイレだけでもお気軽にご利用下さい。



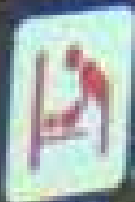
2・3階



3階




4階



4階

乳児用オムツ交換台

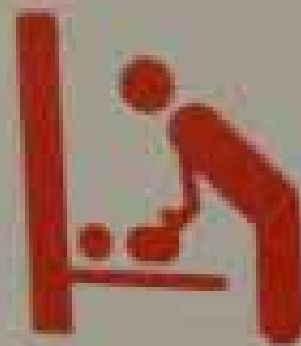
↓ TOILET

TOILET 

C-78



© 2014



オストメイト対応

どなたでもお使いください





2005/02/01

Diaper Changing





2008/3/18



2008-09-18





温水洗淨便座 + 手すり



2007-10-20



2006/5/22





シルバーハウジングでも段差は当たり前？





段差解消浴室ユニット



2015-05-15



2007/03/21











'97 5 18

